

## ●日本OR学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年OR学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞・事例研究奨励賞ソフトウェア部門を除き、平成7年1月31日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙を早めに事務局宛ご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

【文献賞】 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

- 1) 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
- 2) 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年(6年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう)に発表された論文であること。
- 3) 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

【実施賞】 ORの実施を強く推薦してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、東亜燃料工業(株)、(株)日立製作所、中部電力(株)、兵庫県、中国電力(株)、(株)電力中央研究所、住友金属工業(株)、三菱石油(株)、川崎製鉄(株)、(株)東芝、日本電気(株)、田辺製薬(株)、(株)日通総合研究所、(株)構造計画研究所、松下電工(株)、(株)安川電機等、企業が主な受賞者でした。

【普及賞】 ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。従来は、森村英典、後藤正夫、森口繁一、横山 保、河田龍夫、小林宏治、国澤清典、西野吉次、三根 久、松田武彦、近藤次郎、西田俊夫、梅沢 豊、斎藤嘉博、唐藤 一、藤森謙一、三上 操、小田部 斎、原野秀永、千住鎮雄、依田 浩、刀根 薫、松富武雄の各氏および新日本製鐵(株)、(株)富士銀行、日科技連グループ、日本IBM(株)、NTT、旧国鉄の各企業が受賞者でした。

【事例研究奨励賞】 すぐれた事例研究に対して贈られます。個人に限らず、グループや企業も対象になります。ただし、その研究は、学会誌等、本学会において発表されたものに限ります。なお、ソフトウェア部門は11月末日締切です。

【学生論文賞】 学生による優れたORに関する研究に対して贈られるものですが、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文が対象となります。応募締切は平成7年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。(表彰委員会)

## ●日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)第10回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているのでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行なった実績も参考として決定したものであります。

### 〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。

(1) 教育用ソフトウェア

大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア

(2) OR技術の先端的ソフトウェア

3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）

4. 応募手続(1) 提出書類

①正会員による推薦状 1部

推薦状は学会所定の用紙とします。

②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部

機能説明書は学会所定の用紙とします。

③その他参考資料

Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。

(2) 提出先：日本OR学会表彰委員会

(3) 応募締切：平成6年11月30日(水) 必着

5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰する。

6. その他：(1) 応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請をうけたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用についての仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。

(2) 受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行なうこととします。

●第32回シンポジウム「生産スケジューリング・シンポジウム'94」

〈実践的ロジックの開発に向けて〉

スケジューリング・ロジックの進歩

スケジューリング・パッケージの現状と展望

CIMのキー・コンポーネントとしてのスケジューリング

厳しい経済情勢のもと、生産スケジューリングに対する関心が高まっています。昨年、名古屋で機械学会が主催した生産スケジューリング・シンポジウムでは、普段は交流のないさまざまな学会で活動している研究者と実務家が一堂に会し、意外性に富む討論が展開されました。技術の競争と価値観の反省とを促す機会を、今後も多学会の協力で維持したいと考えます。

今回は、日本OR学会と日本経営工学会が合同で進める「CIM環境下における生産計画とスケジューリング研究部会」が中心になり、『実践的ロジックの開発に向けて』をメインテーマに、上記3つのテーマを柱とした研究発表を企画し、生産スケジューリングの今後の進展について展望します。

期 日：10月11日(火)

会 場：青山学院大学総研ビル（東京渋谷）

地下鉄 表参道駅下車徒歩5分、青山キャンパス正門  
入って右脇

主 催：日本オペレーションズ・リサーチ学会（幹事学会）、日本経営工学会、日本機械学会、システム制御情報学会

協 賛：経営情報学会、計測自動制御学会、情報処理学会、人工知能学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本IE協会、日本応用数理学会、日本科学技術連盟、日本シミュレーション学会、日本神経回路学会、日本ファジィ学会、日本ロボット学会

実行委員長：黒田 充（青山学院大学）

参加費：登壇者・一般参加者5,000円、学生2,000円

講演論文集代5,000円

(1) 参加登録は当日会場にて申し受けます。

当日、受付でお支払いください。

(2) 参加費には講演論文集1冊の代金を含んでいます。

問合せ先：〒157 世田谷区千歳台6-16-1

青山学院大学理工学部経営工学科 黒田 充

E-mail : kuroda@cim-lab.ise.aoyama.ac.jp

Fax.03(5384)6516

●平成6年度秋季研究発表会

今年の秋季研究発表会および見学会等は以下の要領で行なわれます。プログラム等につきましては9月号をご覧ください。

1. 研究発表会

日 時：10月9日(日)・10日(月・祝)

会 場：青山学院大学総合研究所（青山キャンパス）

受 付：ご出席の方は参加費（正・賛助会員6,000円、学生会員：2,000円、非会員：10,000円）を添えて当日研究発表会受付にて必ずご登録ください。

実行委員長：阿部俊一（青山学院大学）

実行副委員長：高森 寛（青山学院大学）

特別テーマ：リストラクチャリング/リエンジニアリングとOR

1) 基調講演：梅沢豊（東京大学教授）

2) パネル討論

特別講演：「経営雑感」村井 勉（本学会会長、西日本旅客鉄道(株)およびアサヒビール(株)名誉会長）

「旧ソ連・東欧諸国の再生をめぐる」

袴田茂樹（青山学院大学教授）

チュートリアルおよび解説・展望セッション

(ii)

- 1) 「交通ネットワークの最適化」  
野末尚次 (鉄道総合技術研究所)
- 2) 「投資と金融のOR：平均・分散モデルとその一般化」  
今野 浩 (東京工業大学)
- 3) 「グループウェアのソフトウェア開発への応用—メンバの知見を最大限生かすためのグループ意思決定支援環境—」 古宮誠一 (情報処理振興事業協会)
- 4) 「意思決定支援システムについて」  
田部 勉 (青山学院大学)

ORソフト展示：希望される方はお問い合わせください

## II. 懇 親 会

日 時：10月9日(日) 18：00より

場 所：北欧風スカイレストラン「オスロ」

渋谷区渋谷2-15-1 東邦生命ビル31階

Tel.03(3406)6360

参加申込：参加費(一般6,000円, 学生3,000円)を添えて当日研究発表会受付にお申し込みください。

## III. 見 学 会

日 時：10月11日(火) 10：00より

見学先：NHK放送センターおよびカナダプラス(カナダ大使館新館展示場) NHK放送センターでは「統合的管理システム」, 「NHKの経営」についての講演等があります。昼食を「シティクラブオブ東京」でとります。移動は個人的にお願いします。

参加申込：参加費4,000円を添えて研究発表会受付にお申し込みください(ネクタイおよび上着着用のこと)。

## IV. 問 合 せ 先

実行委員会：青山学院大学理工学部経営工学科 阿部研究室  
〒157 世田谷区千歳台6-16-1

Tel.03(5384)1111 内3505, Fax.03(5384)6500

研究発表会開催中(10月9日・10日のみ)

Tel.03(3409)8862, Fax.03(5485)0782

日本オペレーションズリサーチ学会事務局：

〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階

Tel.03(3815)3351, Fax.03(3815)3352

## ●研究部会・グループ開催案内

・評価のOR

日 時：10月11日(火) 17：00～19：00

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手)

テーマと講師：(1)「確率的DEAモデルについて」

森田 浩 (神戸大学)

(2)「対数型DEAモデル」 平瀬啓太 (東京理科大学)

問合せ先：NTT通信網研究所 上田 徹

Tel.0422(59)3362 Fax.0422(59)2829

E-mail：ueda@tnlab.ntt.jp

・待ち行列

日 時：10月15日(土) 14：00～16：30

場 所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：(1)「Quasi-Reversibility of Discrete Time Queue」 大澤秀雄 (愛知学泉大学)

(2)「トラヒック強度0の定常トラヒック流とカオスの縁」 下川信祐 (ATR)

問合せ先：NEC C&C研究所 小林和朝

Tel.044(856)2316 Fax.044(856)2235

E-mail:koba@sbl.cl.nec.co.jp

・自動車市場の軽量分析

日 時：10月19日(水) 18：00～20：00

場 所：東京国際大学国際交流研究所(JR山手線高田馬場駅前FIビル6F(1Fは東海BK) Tel.03(3205)1677

テーマと講師：「景気変動を織り込んだトラックの短期予測」 上田恭嗣 (東京国際大学商学部)

Wiener-Levinsonの時差相関(自己相関および相互相関)のモデルを、先行指標として鉱工業在庫指数等の経済指標を用いて大型トラックの月別業界販売台数の予測に適用した。EPA法等によりTC系列を求め、それを指数関数で帰帰し残差をC系列とみなしてモデルを適用。

問合せ先：東京国際大学商学部 上田恭嗣

Tel.0492(32)1111 Fax.0492(32)1119

・ORソフトウェア

日 時：10月20日(木) 18：00～20：00

場 所：青山学院大学総研ビル7階13会議室

テーマと講師：「ネットワーク数値情報ライブラリ Ninf—広域分散コンピューティングに向けて—」

佐藤三久, 関口智嗣 (電子技術総合研究所) 長嶋雲兵 (お茶の水女子大学) 近未来の高速ネットワークを利用したネットワーク高精度数値情報ライブラリの意義と設計方針について

問合せ先：青山学院短期大学 宮田雅智

Tel.03(3409)8111 内3208

E-mail：miyasan@cc.aoyama.ac.jp

・数理計画法

日 時：10月22日(土) 14：00～17：00

場 所：統計数理研究所 3階セミナー室

テーマと講師：(1)「脳内電流双極子推定とそのアルゴリズム」(キーワード：脳内電流双極子推定, 制約条件付き最小化アルゴリズム, 乗数法)

飯島智徳 (NEC C&C研究所)

(2)「ホモトピー法と関数の分離性」(キーワード:回路工学, VLSI設計, 非線形方程式の数値解法)

山村清隆 (群馬大学)

問合せ先: 東京理科大学 工学部 教養 矢部 博  
Tel.03(3260)4271 内3560, 3545 Fax.03(3260)0322  
E-mail: yabe@jpnst20.bitnet  
統計数理研究所・予測制御研究系 伊藤 聡  
Tel.03(3446)1501 内553 Fax.03(3446)1695  
E-mail: sito@ism.ac.jp

### ●平成7年度春季研究発表会

日 時: 平成7年3月27日(月)~28日(火)  
場 所: 広島修道大学 (広島市安佐南区)  
実行委員長: 尾崎俊治 (広島大学)  
実行副委員長: 海生直人 (広島修道大学)  
問合せ先: 広島大学工学部 第二類 (電気系) 尾崎俊治  
Tel.0824(24)7698 (尾崎)  
0824 (24) 7696 (土肥 (ドヒ)) Fax.0824(22)7195  
E-mail: osaki@gal.sys.hiroshima-u.ac.jp

### ●会合案内

・第142回新宿OR研究会  
日 時: 10月18日(火) 12:00~13:30  
場 所: レストラン・レダ 新宿センタービル53F  
テーマ:「企業のリエンジニアリングとORチームの在り方」  
講 師: 平尾信正 (東京ガス・常務取締役)  
参加費: 3,000円

・第21回丸の内OR研究会  
日 時: 10月19日(水) 18:30~21:00  
場 所: 学士会館 (神田錦町3-28)  
テーマ:「21世紀の海運業」  
講 師: 岩松重裕 (日本郵船株) 常任顧問  
参加費: 丸の内OR研究会会員 (無料)  
非会員 (3,000円) 当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。  
問合せ先: トーマツ・コンサルティング株 松下芳生  
Tel.03(3457)6745

### ●平成7年度研究部会新設・継続申請受付

新しい部会活動のご提案を学会事務局までお寄せください。また、現在活動中の部会のうちで、来年度も継続して活動することを希望される部会の主査の方は継続の

申請をしてください。締切は12月1日(木)です。部会のメンバーの公募につきましては、研究普及委員会がお手伝いいたします。

詳細につきましては次号(11月号)をご参照ください。

### ●日本工学会

#### 「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム

日 時: 12月19日(月)  
場 所: 建築会館ホール (港区芝5-26-20)

#### プログラム:

10:00~10:10 開会挨拶 日本工学会長 石川六郎  
10:10~10:50 大学の理工系分野の魅力向上と情報発信について  
文部省高等教育局専門教育課長 本間政雄  
10:50~11:30 工学教育に関する意識調査  
徳島大学工学部教授 青山吉隆  
11:30~12:10 大学の理工系分野の教育に望む  
経済団体連合会 未定  
13:10~13:50 鉱業博物館のリフレッシュと社会活動  
秋田大学鉱山学部教授 丸山孝彦  
13:50~14:30 早稲田大学理工学総合研究センター構想  
早稲田大学理工学部教授 松本和子  
14:40~15:20 創造性豊かな人格形成と人間教育への取組み  
東京理科大学基礎工学部教授 幡野 純  
15:20~16:00 理工学系学協会の社会教育活動  
日本工学会理事 内田盛也  
16:10~16:40 自由討議  
16:40~16:50 閉会挨拶  
日本工学会副会長 田中郁三  
17:10~18:30 懇親会 (別会費: 5,000円)

参加費: 2,000円 (懇親会費を除く)

参加申込: 往復ハガキに氏名・勤務先・同住所・同電話番号・所属学協会名・会員番号を明記したうえ、返信ハガキ表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください。

申込期日: 12月5日(月) 必着

申込先: 〒107 港区赤坂9-6-41

社団法人日本工学会「10月シンポジウム」係宛  
(Tel.03(3475)4621)

### ●他学協会案内

・講習会「設計リエンジニアリングの鍵を握るPDM(製品データ管理)システムの実用事例」(協賛)

日 時: 10月28日(金) 10:00~16:50  
場 所: 総評会館201号室 (千代田区神田駿河台)  
主 催: 精密工学会

参加費：会員28,000円（協賛団体を含む）

問合せ先：精密工学会 Tel.03(3362)1979

・セミナー「生産スケジューリング：実用化のための基礎から応用まで」（協賛）

日 時：11月24日(木)、25日(金)

場 所：日本化学会501会議室（千代田区神田駿河台）

主 催：計測自動制御学会

参加費：会員30,000円（協賛団体を含む）

問合せ先：計測自動制御学会 Tel.03(3814)4121

・国際会議のための準備セミナー「英語によるプレゼンテーションの実際」

日 時：11月25日(金)、26日(土)

場 所：OVTA－幕張 海外職業訓練センター

主 催：日本工学会

参加費：80,000円

問合せ先：日本工学会 Tel.03(3475)4621

## ●公募案内

・小樽商科大学商学部社会情報学科（計画科学講座）

募集人員：助教授1名

担当科目：社会計画

応募資格：大学院博士課程修了者もしくはそれと同等以上の研究業績のある者。任用予定日に満40才未満であることが望ましい。

任用予定日：平成7年4月1日

応募期限：平成6年10月31日(月)

問合せ先：〒047 小樽市緑区3-5-21 小樽商科大学庶務課人事係 Tel.0134(23)1101 内505

・琉球大学工学部情報工学科

募集人員ならびに講座：

教授2名（情報通信、ソフトウェア、人工知能）

助教授または講師3名（計算機システム、知能情報処理、知的制御）

助手3名（計算機システム、人工知能、知的制御）

応募資格：教授、助教授は博士の学位を有し、大学院博士課程を担当できる者、助手は博士の学位を有するか、これに準ずる者。

採用予定日：平成7年4月1日

応募期限：平成6年11月30日(水) 必着

問合せ先：〒903-01 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 琉球大学情報工学科長 翁長健治（おながけんじ）  
Tel.098(895)2221 内3259

・統計数理研究所調査実験解析研究系

募集人員：文部教官助手1名

研究分野：統計的データ解析の方法論ならびにその応用に関連した研究

応募資格：修士の学位を有する者、または研究上の業績がこれに準ずると認められる者

採用予定日：平成7年1月1日以降

応募期限：平成6年11月30日(木)

問合せ先：〒106 港区南麻布4-6-7 統計数理研究所 管理部庶務課人事係 Tel.03(3446)1501 内215

## ●現住所・勤務先変更

### —学生会員—

* 豊田 倫子	02301924	京都大学 工学部数理工学科計画講座
* T. A. アブドルハミッド	02991510	東京工業大学 工学部 経営工学科園川研究室
* 内 藤 豊	02401430	日本大学 生産工学部数理工学科
* 西 川 憲	02401444	大阪府立大学 総合科学部数理科学コース寺岡研究室
* 野々崎 裕	02401450	東京理科大学 工学部経営工学専攻
* 早 川 希	02501780	慶應義塾大学
* 松 居 麻子	02601630	慶應義塾大学
* 松 浪 克典	02601644	大阪府立大学 総合科学部数理科学コース寺岡研究室
* 村 上 丈敏	02601654	京都学園大学 経営学科
* 村 本 達也	02601660	筑波大学 社会工学研究科
* 守 屋 紀茂	02601670	東京理科大学 理工学部経営工学科
* 山口 研三	02701430	上智大学 大学院理工学研究科機械工学専攻
* 山 崎 三奈	02701440	慶應義塾大学 大学院理工学研究科修士課程管理工学専攻
* 山 下 信雄	02701454	奈良先端科学技術大学院大学 情報システム
* 米 原 隆雄	02701464	大阪府立大学 総合科学部数理科学コース寺岡研究室

## お知らせ

OR学会だよりは「イエローページ」の愛称で親しまれてきましたが、今月号から通常のページと同じく白とし、グレイの\_\_\_\_\_を付けました。

印刷が4ページを単位とするため、用紙が変わるとムダが生じやすく、また編集作業もやりにくいため、このような措置をとりました。

なれるまで、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

（編集委員会）